

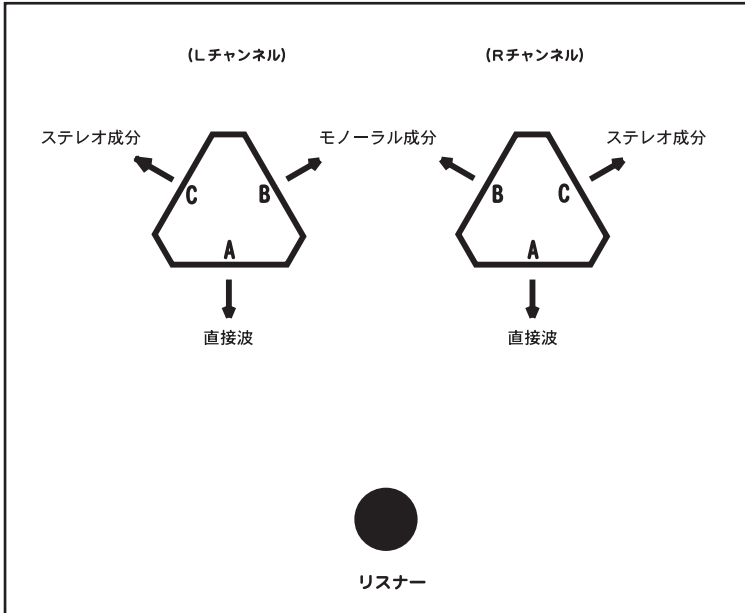
N. D. R. システムの基本概念

【概要】

N. D. R. システム とは、光陽電気社長の河野康さんが研究されていた方式で、「ノン ディメンショナル ラジエーション」の略称です。直訳すれば、「無次元放射」という意味ですが、設計概念は「無指向性」ということのようにです。

【基本構造】

N. D. R. システムの基本構造は、下図のとおりです。

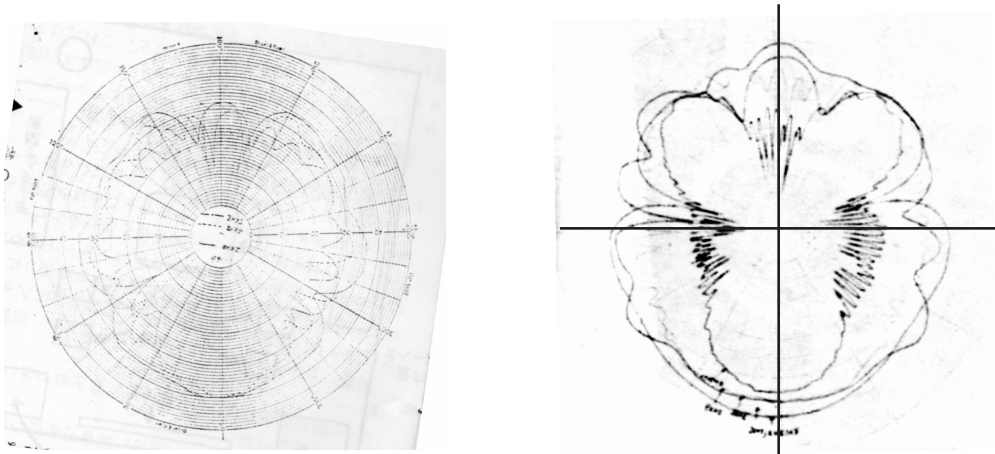


図はN. D. R. システムを上から見た概念図です。

A, B, Cの位置にはスピーカーユニットが設置されています。水平方向に広く指向性を持たせたシステムで、従来の水平無指向性システムと構造上は大きな違いはありません。

(図中の「ステレオ成分」「モノーラル成分」という表記ですが、あくまで説明のためのものであり、それぞれに特殊な信号を再生しているわけではありません。A, B, Cのユニットからは、基本的には同一の信号が再生されます)

従来の無指向性システムとの違いとして、N. D. R. システムでは「Aユニットと、B+Cユニットの音量比率をコントロールしている」ということがあります。



上図はN. D. R. システム（製品版）の水平方向の指向性パターンです。いずれも正面のユニットAの音圧が、B, Cのユニットよりも5~10dB高く調整されているのがわかります。

このほかのN. D. R. の特徴として「スーパーベースラジエータ」という、ドロンコーンを使った低域補完方式が採用されていました。

バンピーノでは、スーパーベースラジエータ方式の変わりに、MCAP-CR方式を使って低域補完を行なっています。